

平成 25 年 度

# 八代市議会建設環境委員会記録

---

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 3月定例会付託案件 …………… 1

---

平成 26 年 2 月 24 日 (月曜日)

## 建設環境委員会会議録

平成26年2月24日 月曜日

午前10時50分開議

午前11時18分閉議（実時間 28分）

### ○本日の会議に付した案件

1. 議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号（関係分）
1. 議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号

### ○本日の会議に出席した者

委員長	成松由紀夫君
副委員長	太田広則君
委員	大倉裕一君
委員	庄野末藏君
委員	古嶋津義君
委員	前川祥子君
委員	山本幸廣君
委員	幸村香代子君

※欠席委員 君

### ○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

### ○説明員等委員（議）員外出席者

建設部長	船藏満彦君
建設部総括審議員 兼次長	中山義晴君
土木管理課長	鶴山信一君
首席審議員 兼土木建設課長	下川哲夫君
下水道建設課長	楠本研二君
商工観光部 重点港湾八代港 営業隊長	高崎正君

○記録担当書記 松本和美君

（午前10時50分 開会）

○委員長（成松由紀夫君） それでは、定足数に達しましたので、ただいまから建設環境委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配布してあります付託表のとおりであります。

### ◎議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号（関係分）

○委員長（成松由紀夫君） 最初に予算議案の審査に入ります。

それでは、議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

建設部でございます。

本委員会に付託されました、議案第1号・平成25年度一般会計補正予算・第10号中、当建設部所管分につきまして、中山総括審議員兼次長並びに関係課長より説明させますので、よろしくお願いいたします。

○建設部総括審議員兼次長（中山義晴君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 中山建設部総括審議員兼次長。

○建設部総括審議員兼次長（中山義晴君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

建設部総括審議員兼次長の中山です。着座にて説明させていただきます。

それでは、補正予算書の2ページをお開きください。

第1表・歳入歳出予算補正について、3ペー

ジの歳出でございます。

款7・土木費、項2・道路橋梁費で、補正前の額17億7105万7000円に2230万円を増額補正し、17億9335万7000円といたしております。

同じく土木費の、項3・河川費で、補正前の額7504万8000円に650万円を増額補正し、8154万8000円といたしております。

同じく土木費の、項4・港湾費で、補正前の額2億8120万7000円に9250万円を増額補正し、3億7370万7000円といたしております。

今回の補正の理由といたしましては、国の第1次補正に伴い増額補正をお願いするものでございます。

節ごとに御説明いたします。

14ページをお開きください。

款7・土木費、項2・道路橋梁費、目2・道路維持費で、2230万円を増額補正をお願いするもので、節13・委託料に市内一円の2級市道156キロメートル分の道路路面性状調査費等として1250万円と、節15・工事請負費に五家荘椎葉線の災害防除工事費980万円を追加計上するものでございます。

次に15ページをお開きください。

同じく土木費の、項3・河川費、目1・河川費で、650万円を増額補正をお願いするもので、節19・負担金補助及び交付金に県河川海岸事業負担金として、明治新田海岸の堤防護岸補修および野崎海岸の水門改良工の相当額650万円を追加計上するものでございます。

次に同じく土木費の、項4・港湾費、目2・港湾建設費で、9250万円を増額補正をお願いするもので、節19・負担金補助及び交付金に八代港県営事業負担金等としまして、土砂処分場の築堤工事等の相当額9250万円を追加計上するものでございます。

次に、お手元にお配りしております資料の説明をさせていただきます。表紙右肩に黒枠で資料と記したA4版のものでございます。

今回補正対象の事業の位置図、平面図等を資料といたしておりますので、配布させていただいております。

以上で、款7・土木費の説明を終わります。

御審議よろしく申し上げます。

○委員長（成松由紀夫君） それでは、以上の部分について、質疑を行います。

質疑ありませんか

○委員（幸村香代子君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 幸村委員。

○委員（幸村香代子君） はい。今の御説明を受けて、一つは国の補正がですね、決まったのが2月だったと思うんですが、それによる事業だと思うんですけども、そもそもこの事業というのは、26年度の当初で予定をされていたものかどうかっていうことをお伺いをしたいのですが。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。先ほど御説明いたしました道路の維持費の中の、市道の路面性状調査につきましては、26年度当初予算で一応考えておったところでございます。並びに五家荘椎葉線の災害防除工事も同様でございます。

あと、国・県で事業していただいております河川事業並びに港湾事業につきましては、国のほうの補正に伴うものでございます。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。

○委員（古嶋津義君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 古嶋委員。

○委員（古嶋津義君） 先議されるということですから、ただちに指名、そして入札をされる

と思いますが、4月から消費税が上がりますよね。その関連はどうですか。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） はい、船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。明らかに年度を越した工期につきましては、消費税を8%ですということになっております。

○委員（古嶋津義君） はい、わかりました。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございせんか。

○委員（山本幸廣君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（成松由紀夫君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） 説明ありがとうございます。先議でありますから、私は御賛同したいというふうに思っておりますけど、この2200万円という、今回の市内一円についてですね、このくらいしか経済対策でですね、先議ができなかったのかというのが、ちょっと心配ですね、たくさんの未整備、路面の改修、舗装の改修、これは平成17年、合併をした後ですね、私も今回一般質問してみようかなと思った矢先にこういう先議だったものですから、これについて整備計画等々ですね、これからつくっていくかなければ、改良と維持と、それから路面舗装関係を、10年間なら10年間、5年間なら5年間という整備計画をつくっておられると思うんですよ。思うんですが、これについて、何のための経済対策なのかというですね、地方交付税もどんどん今回カットされておる状況の中でですね、大変期待をしておりました。ところが、こういう状況でありましたので。

あえて先議というのは、なるだけなら早くですね、工事を進めていただくようにですね、お願いをされるわけありますので、これについては何も言いません。

予算面についてですね、そこらあたりの感触

というか、そういうのは部長、ちょっと聞かせていただければなと思いますけど。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。山本委員の御質問されました内容でございますが、実は国の今回の第1次経済対策補正に伴いまして、先ほど言われました道路の舗装修繕が、老朽化対策の中にあるわけでございますが、これにつきましても、一応国のほうには市としまして2億円ほど一応要望はいたしました。

ところが、熊本県下の各市町村並びに日本全国の市町村からの要望があまりに多かったものですから、今回につきましては、熊本県下市町村全域ですけども、この道路舗装修繕については一応認められておらないということで、これについては諦めざるを得ないということでございます。

今年度25年度におきましても、1級市道の、現在もうそろそろ完成しますが、路面性状調査をしておりますので、それに基づいて今後は計画的に道路の舗装の維持修繕を図っていきたいと考えておるところでございます。

以上です。

○委員（山本幸廣君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（成松由紀夫君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） そこでですね、通常は道路維持っていうのは一般財源で対応しなきゃいけないという状況の、地方財政を圧迫してるのは現実なんですね。要求しても、なかなか財政としては、今回当初予算見てもですね、大変予算的にも無理な状況の中で、予算計上なされとる。編成の時、そしてまた、いろんな査定の時でもですね、大変苦勞されたと思うんですよ。

私が、今回この予算の中で一番感じたのがですね、この路面の調査等については、これだけ国が経済対策で、これで打ち込んだらですね、

いかに一般財源が、はっきり言って、財源に対する指標というのがですね、少なくなってくるというふうな状況になるわけでありまして、ここらあたりは、県も窓口の中でですね、もうちょっと頑張ってますね、毎日のように報道してる、今の経済対策、状況でありますから、地方にはこの経済対策で、特に公共事業というのを、やっぱりこの四つの文字を掲げてから、今政策をやっとるわけですね。

そういうことで、大変この、部長を初め、担当の職員の方々苦勞なされていると思うんですけども、ここらあたりについては、私たちもしっかりですね、皆さん方の応援をしていかないかぬし、また予算計上についてもですね、経済対策については力強く、委員長のもとにこの委員会も含めてですね、執行部をお願いをしていきたいと思っておりますが、あえて今言いましたので、この市内一円についても、よろしかれば路面舗装との整備計画等ともですね、私のほうで個人的にお聞きしますから、聞かせてください。

以上です。

○委員長（成松由紀夫君） はい、ほかにございませんか。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。

○委員（大倉裕一君） せっかくですので、もう少し詳しくお聞きしたいんですけども、五家荘椎葉線災害防除事業ですけど、どういうふうになってるから、どういうふうになるんですかね。教えてください。

○委員長（成松由紀夫君） 誰が答えられますか。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。ただいまの御質問ですけれども、五家荘椎葉線につきましては、泉町から宮崎県の椎葉村のほうにつ

ながる道路でございまして、県境の峠の約1キロほど手前のところの箇所でございます。

宮崎県側に向かいまして右手のほうは、山側というようなことになっておりまして、道路に対して山側ののり面が崩落して、ずるずるずるずる、道路の路面上に碎石あたりが転げ落ちてきて危険というような状況でございます。

これにつきまして、のり面に簡易のり枠を設置いたしまして、のり面の安定を図る計画をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。

○委員（大倉裕一君） 通常でいくと、設計業務とかを出されて、その後に工事請負というような形で出されますけど、今回は一度にというような予算の内容になってますですね。その部分の説明をちょっとお願いしていいですか。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） 今回はですね、単年度で測量設計業務委託と工事請負というようなことで計上をさせていただいております。

これにつきましては、前半部分で測量設計業務を委託しまして、委託業務が完了した時点で工事を発注する予定でございます。

以上でございます。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。

○委員（大倉裕一君） 具体的に竣工というのは、いつぐらいを目安に思っておられるんですか。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） 工事の竣工は12月を予定いたしております。

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。  
○委員（大倉裕一君） はい。もう一点。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。  
○委員（大倉裕一君） はい。八代港の県営事業負担金のことで、この点についても、詳しい説明をお願いしたいと思います。

○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） 高崎重点港湾八代港営業隊長。

○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。こちらにつきましては、工事箇所は4カ所ございます。

まず1点目につきましては、冠水対策事業、八代外港地区におきまして、雨天時に道路等で冠水する箇所がございまして、こちらの改良工事を行うこと、これが1000メートルを対象に冠水対策を行うのがまず一点。

続きまして、航路しゅんせつの土砂を埋めますですね、土砂捨て場の確保をするために、大築島の北地区につきましては、かさ上げ工事を行いましてこの土砂の処分場を確保するという、こちらにつきましてが一点。

もう一点、3点目につきましては、内港地区から外港地区に届きます臨港道路がございしますが、こちらが、一部道路のほうが歪曲しておりまして、こちらのほうの工事を行うということ、これが630メートルを対象に行うということでございます。

最後に、国の直轄事業といたしまして、水深14メートル航路がございしますが、こちらの航路しゅんせつを行うということでございます。対象としましては4万6000立米をしゅんせつをするという工事になっております。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。  
○委員（大倉裕一君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。  
○委員（大倉裕一君） 最後のしゅんせつの部

分ですけど、しゅんせつの土砂は、この大築島に入っているということで理解していいんですかね。

○委員長（成松由紀夫君） はい、高崎隊長。  
○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。こちらにつきましてはですね、大築島の現在、かさ上げ工事をされます部分につきましては、県が行うしゅんせつ土砂のほうを持って行くということで、こちらの14メートルの航路につきましては、国の直轄事業でございまして、現在加賀島のほうに国の埋立地が一部ございますが、そちらのほうと、天草のほうの市有地のほうに、現在土砂を盛っているという状況でございます。

以上です。

○委員（大倉裕一君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、よろしいですね。  
○委員（古嶋津義君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、古嶋委員。  
○委員（古嶋津義君） はい。ちょっと関連ですが、今の臨港道路の改良、冠水対策ということですが、具体的に工事のやり方、手法、例えば冠水だから道路をかさ上げして舗装するのか、その辺のところ、ちょっと具体的にお聞かせをいただきたいと思います。

○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） 高崎隊長。  
○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。冠水対策事業につきましては、全体事業費として、おおむね15億円程度見込まれておりまして、平成24年度から本格的な対策工事がなされております。

今回の補正予算を合わせますと、その進捗率は85.9%という予定でございます。

具体的な工事の内容につきましては、大きな雨水管をですね、道路のほうに埋めまして、冠水対策を行っているというところがございます。

○委員（古嶋津義君） はい、オッケーです。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、ほかにございませんか。

○委員（幸村香代子君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、幸村委員。

○委員（幸村香代子君） はい、済みません。さきほどの五家荘の椎葉線の事業と県河川海岸事業の分なんです、この事業が、今回の事業で全てが終わるのか、それともまだ手を入れなきゃいけないところがあるのかについてお尋ねをしたいんですが。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） 五家荘椎葉線につきましては、今年度が一応完了というような予定にしております。

○委員（幸村香代子君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、ほかにございませんか。

○委員長（成松由紀夫君） はい、下川土木建設課長。

○土木建設課長（下川哲夫君） はい。県事業負担金の件でございます。

明治新田の堤防でございますが、緊急性が高く、陥没してるというところがあるようでございまして、その分について、350メートルほど今回補正で工事着手したいということでございます。

後は、また陥没の状況調査に応じて、また整備をされるものと思っております。

それと、野崎の水門でございますが、この水門は、門が五つありまして、一門につきましては完了しております。現在が水压差で扉が開くような構造になっております。一般的、招き扉というような言い方しておりますが。これを今回、観音開きにして排水効率を上げるという工事をなさるといふふうに聞いております。その

一門が終わっておりまして、今回の補正分で残り四門を工事されるということでございます。

○委員（幸村香代子君） はい、わかりました。

○委員長（成松由紀夫君） はい、よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、以上で、質疑を終了します。

意見がございましたら、お願いいたします。

意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、これより採決いたします。

議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号中、当委員会関係分について、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（成松由紀夫君） 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

---

◎議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号

○委員長（成松由紀夫君） 次に、議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号を議題とし、説明を求めます。

○下水道建設課長（楠本研二君） はい、委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 楠本下水道建設課長。

○下水道建設課長（楠本研二君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

下水道建設課長の楠本でございます。座って説明させていただきます。

議案第2号・平成25年度八代市公共下水道

事業特別会計補正予算（第3号）について説明いたします。

1 ページをお願いいたします。

第1条・歳入歳出予算の総額ですが、それぞれ9320万円を追加し、41億4043万円とするものでございます。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び、当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、2ページの第1表・歳入歳出予算補正でお示しております。

今回の補正につきましては、歳入では、款3・国庫支出金の項1・国庫補助金と、款8・項1の市債をそれぞれ4660万円増額し、歳出では款1・項1の公共下水道事業費を9320万円増額するものでございます。

詳細につきましては、4ページ以降の事項別明細書に記載しておりますが、歳出では、目4・下水道建設費、節15・工事請負費を9320万円増額いたしております。

今回の補正の理由といたしましては、国の第1次補正に伴い増額補正をお願いするものでございます。

工事箇所といたしましては、松高地区2カ所、八千把地区3カ所を予定しております。

なお、工事箇所の位置図につきましては、お手元の資料の最後のページに配布をさせていただいております。

次に、1ページにお戻りください。

第2条・繰越明許費の補正でございますが、3ページの第2表・繰越明許費補正でお示しておりますとおり、八代処理区幹線工事及び管渠布設事業の9320万円を追加いたしております。

これは、工期の確保が必要であり、年度内の完了が困難であるためでございます。

なお、完成は、平成26年12月末を予定しております。

最後に、第3条の地方債の補正でございます

が、第3表・地方債補正でお示しておりますとおり、限度額を4660万円追加し、9億780万円としております。

以上、議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号についての説明を終わります。

御審議よろしくをお願いいたします。

○委員長（成松由紀夫君） はい、それでは、以上の部分について、質疑を行います。

質疑ございませんか。

○委員（古嶋津義君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 古嶋委員。

○委員（古嶋津義君） はい。総延長何メートルぐらいありますか。

○委員長（成松由紀夫君） 誰が答えますか。

○委員（古嶋津義君） 補正で上がってる部分5カ所か。5カ所の総延長。

○下水道建設課長（楠本研二君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 楠本下水道建設課長。

○下水道建設課長（楠本研二君） 済みません。詳細な延長、ちょっと控えておりませんので、後で……。

○委員（古嶋津義君） 後でいいです、はい。

○下水道建設課長（楠本研二君） 済みませんです。

○委員長（成松由紀夫君） では、後ほど報告してください。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、以上で、質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いいたします。

意見ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、これより採決をいたします。

議案第2号・平成25年度八代市公共下水道

事業特別会計補正予算・第3号について、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

○委員長(成松由紀夫君) 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(成松由紀夫君) 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、建設環境委員会を散会いたします。

(午前11時18分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成26年2月24日

建設環境委員会

委員長

平成 25 年 度

# 八代市議会建設環境委員会記録

---

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 3月定例会付託案件 …………… 1

---

平成 26 年 2 月 24 日 (月曜日)

## 建設環境委員会会議録

平成26年2月24日 月曜日

午前10時50分開議

午前11時18分閉議（実時間 28分）

### ○本日の会議に付した案件

1. 議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号（関係分）
1. 議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号

### ○本日の会議に出席した者

委員長	成松由紀夫君
副委員長	太田広則君
委員	大倉裕一君
委員	庄野末藏君
委員	古嶋津義君
委員	前川祥子君
委員	山本幸廣君
委員	幸村香代子君

※欠席委員 君

### ○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

### ○説明員等委員（議）員外出席者

建設部長	船藏満彦君
建設部総括審議員 兼次長	中山義晴君
土木管理課長	鶴山信一君
首席審議員 兼土木建設課長	下川哲夫君
下水道建設課長	楠本研二君
商工観光部 重点港湾八代港 営業隊長	高崎正君

○記録担当書記 松本和美君

（午前10時50分 開会）

○委員長（成松由紀夫君） それでは、定足数に達しましたので、ただいまから建設環境委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配布してあります付託表のとおりであります。

### ◎議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号（関係分）

○委員長（成松由紀夫君） 最初に予算議案の審査に入ります。

それでは、議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

建設部でございます。

本委員会に付託されました、議案第1号・平成25年度一般会計補正予算・第10号中、当建設部所管分につきまして、中山総括審議員兼次長並びに関係課長より説明させますので、よろしくお願いいたします。

○建設部総括審議員兼次長（中山義晴君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 中山建設部総括審議員兼次長。

○建設部総括審議員兼次長（中山義晴君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

建設部総括審議員兼次長の中山です。着座にて説明させていただきます。

それでは、補正予算書の2ページをお開きください。

第1表・歳入歳出予算補正について、3ペー

ジの歳出でございます。

款7・土木費、項2・道路橋梁費で、補正前の額17億7105万7000円に2230万円を増額補正し、17億9335万7000円といたしております。

同じく土木費の、項3・河川費で、補正前の額7504万8000円に650万円を増額補正し、8154万8000円といたしております。

同じく土木費の、項4・港湾費で、補正前の額2億8120万7000円に9250万円を増額補正し、3億7370万7000円といたしております。

今回の補正の理由といたしましては、国の第1次補正に伴い増額補正をお願いするものでございます。

節ごとに御説明いたします。

14ページをお開きください。

款7・土木費、項2・道路橋梁費、目2・道路維持費で、2230万円を増額補正をお願いするもので、節13・委託料に市内一円の2級市道156キロメートル分の道路路面性状調査費等として1250万円と、節15・工事請負費に五家荘椎葉線の災害防除工事費980万円を追加計上するものでございます。

次に15ページをお開きください。

同じく土木費の、項3・河川費、目1・河川費で、650万円を増額補正をお願いするもので、節19・負担金補助及び交付金に県河川海岸事業負担金として、明治新田海岸の堤防護岸補修および野崎海岸の水門改良工の相当額650万円を追加計上するものでございます。

次に同じく土木費の、項4・港湾費、目2・港湾建設費で、9250万円を増額補正をお願いするもので、節19・負担金補助及び交付金に八代港県営事業負担金等としまして、土砂処分場の築堤工事等の相当額9250万円を追加計上するものでございます。

次に、お手元にお配りしております資料の説明をさせていただきます。表紙右肩に黒枠で資料と記したA4版のものでございます。

今回補正対象の事業の位置図、平面図等を資料といたしておりますので、配布させていただいております。

以上で、款7・土木費の説明を終わります。

御審議よろしく申し上げます。

○委員長（成松由紀夫君） それでは、以上の部分について、質疑を行います。

質疑ありませんか

○委員（幸村香代子君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 幸村委員。

○委員（幸村香代子君） はい。今の御説明を受けて、一つは国の補正がですね、決まったのが2月だったと思うんですが、それによる事業だと思うんですけども、そもそもこの事業というのは、26年度の当初で予定をされていたものかどうかっていうことをお伺いをしたいのですが。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。先ほど御説明いたしました道路の維持費の中の、市道の路面性状調査につきましては、26年度当初予算で一応考えておったところでございます。並びに五家荘椎葉線の災害防除工事も同様でございます。

あと、国・県で事業していただいております河川事業並びに港湾事業につきましては、国のほうの補正に伴うものでございます。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。

○委員（古嶋津義君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 古嶋委員。

○委員（古嶋津義君） 先議されるということですから、ただちに指名、そして入札をされる

と思いますが、4月から消費税が上がりますよね。その関連はどうですか。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） はい、船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。明らかに年度を越した工期につきましては、消費税を8%ですということになっております。

○委員（古嶋津義君） はい、わかりました。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。

○委員（山本幸廣君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（成松由紀夫君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） 説明ありがとうございます。先議でありますから、私は御賛同したいというふうに思っておりますけど、この2200万円という、今回の市内一円についてですね、このくらいしか経済対策でですね、先議ができなかったのかというのが、ちょっと心配ですね、たくさんの未整備、路面の改修、舗装の改修、これは平成17年、合併をした後ですね、私も今回一般質問してみようかなと思った矢先にこういう先議だったものですから、これについて整備計画等々ですね、これからつくっていくかなければ、改良と維持と、それから路面舗装関係を、10年間なら10年間、5年間なら5年間という整備計画をつくっておられると思うんですよ。思うんですが、これについて、何のための経済対策なのかというですね、地方交付税もどんどん今回カットされておる状況の中です、大変期待をしておりました。ところが、こういう状況でありましたので。

あえて先議というのは、なるだけなら早くですね、工事を進めていただくようにですね、お願いをされるわけありますので、これについては何も言いません。

予算面についてですね、そこらあたりの感触

というか、そういうのは部長、ちょっと聞かせていただければなと思いますけど。

○建設部長（船藏満彦君） 委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 船藏建設部長。

○建設部長（船藏満彦君） はい。山本委員の御質問されました内容でございますが、実は国の今回の第1次経済対策補正に伴いまして、先ほど言われました道路の舗装修繕が、老朽化対策の中にあるわけでございますが、これにつきましても、一応国のほうには市としまして2億円ほど一応要望はいたしました。

ところが、熊本県下の各市町村並びに日本全国の市町村からの要望があまりに多かったものですから、今回につきましては、熊本県下市町村全域ですけれども、この道路舗装修繕については一応認められておらないということで、これについては諦めざるを得ないということでございます。

今年度25年度におきましても、1級市道の、現在もうそろそろ完成しますが、路面性状調査をしておりますので、それに基づいて今後は計画的に道路の舗装の維持修繕を図っていきたいと考えておるところでございます。

以上です。

○委員（山本幸廣君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（成松由紀夫君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） そこでですね、通常は道路維持っていうのは一般財源で対応しなきゃいけないという状況の、地方財政を圧迫してるのは現実なんですね。要求しても、なかなか財政としては、今回当初予算見てもですね、大変予算的にも無理な状況の中で、予算計上なされとる。編成の時、そしてまた、いろんな査定の時でもですね、大変苦勞されたと思うんですよ。

私が、今回この予算の中で一番感じたのがですね、この路面の調査等については、これだけ国が経済対策で、これで打ち込んだらですね、

いかに一般財源が、はっきり言って、財源に対する指標というのがですね、少なくなってくるというふうな状況になるわけでありまして、ここらあたりは、県も窓口の中でですね、もうちょっと頑張ってますね、毎日のように報道してる、今の経済対策、状況でありますから、地方にはこの経済対策で、特に公共事業というのを、やっぱりこの四つの文字を掲げてから、今政策をやっとるわけですね。

そういうことで、大変この、部長を初め、担当の職員の方々苦勞なされていると思うんですけども、ここらあたりについては、私たちもしっかりですね、皆さん方の応援をしていかないかぬし、また予算計上についてもですね、経済対策については力強く、委員長のもとにこの委員会も含めてですね、執行部にお願いをしたいと思っておりますが、あえて今言いましたので、この市内一円についても、よろしかれば路面舗装との整備計画等ともですね、私のほうで個人的にお聞きしますから、聞かせてください。

以上です。

○委員長（成松由紀夫君） はい、ほかにございませんか。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。

○委員（大倉裕一君） せっかくですので、もう少し詳しくお聞きしたいんですけども、五家荘椎葉線災害防除事業ですけど、どういうふうになってるから、どういうふうになるんですかね。教えてください。

○委員長（成松由紀夫君） 誰が答えられますか。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。ただいまの御質問ですけれども、五家荘椎葉線につきましては、泉町から宮崎県の椎葉村のほうにつ

ながる道路でございまして、県境の峠の約1キロほど手前のところの箇所でございます。

宮崎県側に向かいまして右手のほうが、山側というようなことになっておりまして、道路に対して山側ののり面が崩落して、ずるずるずるずる、道路の路面上に碎石あたりが転げ落ちてきて危険というような状況でございます。

これにつきまして、のり面に簡易のり枠を設置いたしまして、のり面の安定を図る計画をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。

○委員（大倉裕一君） 通常でいくと、設計業務とかを出されて、その後に工事請負というような形で出されますけど、今回は一度にというような予算の内容になってますですね。その部分の説明をちょっとお願いしていいですか。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） 今回はですね、単年度で測量設計業務委託と工事請負というふうなことで計上をさせていただいております。

これにつきましては、前半部分で測量設計業務を委託しまして、委託業務が完了した時点で工事を発注する予定でございます。

以上でございます。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。

○委員（大倉裕一君） 具体的に竣工というのは、いつぐらいを目安に思っておられるんですか。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） 工事の竣工は12月を予定いたしております。

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。  
○委員（大倉裕一君） はい。もう一点。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。  
○委員（大倉裕一君） はい。八代港の県営事業負担金のことで、この点についても、詳細な説明をお願いしたいと思います。

○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） 高崎重点港湾八代港営業隊長。

○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。こちらにつきましては、工事箇所は4カ所ございます。

まず1点目につきましては、冠水対策事業、八代外港地区におきまして、雨天時に道路等で冠水する箇所がございまして、こちらの改良工事を行うこと、これが1000メートルを対象に冠水対策を行うのがまず一点。

続きまして、航路しゅんせつの土砂を埋めますですね、土砂捨て場の確保をするために、大築島の北地区につきましては、かさ上げ工事を行いましてこの土砂の処分場を確保するということ、こちらにつきましては一点。

もう一点、3点目につきましては、内港地区から外港地区に届きます臨港道路がございしますが、こちらが、一部道路のほうが歪曲しておりまして、こちらのほうの工事を行うということ、これが630メートルを対象に行うということでございます。

最後に、国の直轄事業といたしまして、水深14メートル航路がございしますが、こちらの航路しゅんせつを行うということでございます。対象としましては4万6000立米をしゅんせつをするという工事になっております。

以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） よろしいですか。  
○委員（大倉裕一君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、大倉委員。  
○委員（大倉裕一君） 最後のしゅんせつの部

分ですけど、しゅんせつの土砂は、この大築島に入っているということで理解していいんですかね。

○委員長（成松由紀夫君） はい、高崎隊長。  
○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。こちらにつきましてはですね、大築島の現在、かさ上げ工事をされます部分につきましては、県が行うしゅんせつ土砂のほうを持って行くということで、こちらの14メートルの航路につきましては、国の直轄事業でございまして、現在加賀島のほうに国の埋立地が一部ございますが、そちらのほうと、天草のほうの市有地のほうに、現在土砂を盛っているという状況でございます。

以上です。

○委員（大倉裕一君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、よろしいですね。  
○委員（古嶋津義君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、古嶋委員。  
○委員（古嶋津義君） はい。ちょっと関連ですが、今の臨港道路の改良、冠水対策ということですが、具体的に工事のやり方、手法、例えば冠水だから道路をかさ上げして舗装するのか、その辺のところ、ちょっと具体的にお聞かせをいただきたいと思います。

○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。  
○委員長（成松由紀夫君） 高崎隊長。  
○重点港湾八代港営業隊長（高崎正君） はい。冠水対策事業につきましては、全体事業費として、おおむね15億円程度見込まれておりまして、平成24年度から本格的な対策工事がなされております。

今回の補正予算を合わせますと、その進捗率は85.9%という予定でございます。

具体的な工事の内容につきましては、大きな雨水管をですね、道路のほうに埋めまして、冠水対策を行っているというところがございます。

○委員（古嶋津義君） はい、オッケーです。  
○委員長（成松由紀夫君） はい、ほかにございませんか。

○委員（幸村香代子君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、幸村委員。

○委員（幸村香代子君） はい、済みません。さきほどの五家荘の椎葉線の事業と県河川海岸事業の分なんです、この事業が、今回の事業で全てが終わるのか、それともまだ手を入れなきゃいけないところがあるのかについてお尋ねをしたいんですが。

○土木管理課長（鶴山信一君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、鶴山土木管理課長。

○土木管理課長（鶴山信一君） 五家荘椎葉線につきましては、今年度が一応完了というような予定にしております。

○委員（幸村香代子君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） はい、ほかにございませんか。

○委員長（成松由紀夫君） はい、下川土木建設課長。

○土木建設課長（下川哲夫君） はい。県事業負担金の件でございます。

明治新田の堤防でございますが、緊急性が高く、陥没してるというところがあるようでございまして、その分について、350メートルほど今回補正で工事着手したいということでございます。

後は、また陥没の状況調査に応じて、また整備をされるものと思っております。

それと、野崎の水門でございますが、この水門は、門が五つありまして、一門につきましては完了しております。現在が水压差で扉が開くような構造になっております。一般的、招き扉というような言い方しておりますが。これを今回、観音開きにして排水効率を上げるという工事をなさるといふふうに聞いております。その

一門が終わっておりまして、今回の補正分で残り四門を工事されるということでございます。

○委員（幸村香代子君） はい、わかりました。

○委員長（成松由紀夫君） はい、よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、以上で、質疑を終了します。

意見がございましたら、お願いいたします。

意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、これより採決いたします。

議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号中、当委員会関係分について、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（成松由紀夫君） 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

---

◎議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号

○委員長（成松由紀夫君） 次に、議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号を議題とし、説明を求めます。

○下水道建設課長（楠本研二君） はい、委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 楠本下水道建設課長。

○下水道建設課長（楠本研二君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

下水道建設課長の楠本でございます。座って説明させていただきます。

議案第2号・平成25年度八代市公共下水道

事業特別会計補正予算（第3号）について説明いたします。

1 ページをお願いいたします。

第1条・歳入歳出予算の総額ですが、それぞれ9320万円を追加し、41億4043万円とするものでございます。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び、当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、2ページの第1表・歳入歳出予算補正でお示しております。

今回の補正につきましては、歳入では、款3・国庫支出金の項1・国庫補助金と、款8・項1の市債をそれぞれ4660万円増額し、歳出では款1・項1の公共下水道事業費を9320万円増額するものでございます。

詳細につきましては、4ページ以降の事項別明細書に記載しておりますが、歳出では、目4・下水道建設費、節15・工事請負費を9320万円増額いたしております。

今回の補正の理由といたしましては、国の第1次補正に伴い増額補正をお願いするものでございます。

工事箇所といたしましては、松高地区2カ所、八千把地区3カ所を予定しております。

なお、工事箇所の位置図につきましては、お手元の資料の最後のページに配布をさせていただいております。

次に、1ページにお戻りください。

第2条・繰越明許費の補正でございますが、3ページの第2表・繰越明許費補正でお示しておりますとおり、八代処理区幹線工事及び管渠布設事業の9320万円を追加いたしております。

これは、工期の確保が必要であり、年度内の完了が困難であるためでございます。

なお、完成は、平成26年12月末を予定しております。

最後に、第3条の地方債の補正でございます

が、第3表・地方債補正でお示しておりますとおり、限度額を4660万円追加し、9億780万円としております。

以上、議案第2号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第3号についての説明を終わります。

御審議よろしくをお願いいたします。

○委員長（成松由紀夫君） はい、それでは、以上の部分について、質疑を行います。

質疑ございませんか。

○委員（古嶋津義君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 古嶋委員。

○委員（古嶋津義君） はい。総延長何メートルぐらいありますか。

○委員長（成松由紀夫君） 誰が答えますか。

○委員（古嶋津義君） 補正で上がってる部分5カ所か。5カ所の総延長。

○下水道建設課長（楠本研二君） はい。

○委員長（成松由紀夫君） 楠本下水道建設課長。

○下水道建設課長（楠本研二君） 済みません。詳細な延長、ちょっと控えておりませんので、後で……。

○委員（古嶋津義君） 後でいいです、はい。

○下水道建設課長（楠本研二君） 済みませんです。

○委員長（成松由紀夫君） では、後ほど報告してください。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、以上で、質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いいたします。

意見ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、これより採決をいたします。

議案第2号・平成25年度八代市公共下水道

事業特別会計補正予算・第3号について、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

○委員長(成松由紀夫君) 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(成松由紀夫君) 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、建設環境委員会を散会いたします。

(午前11時18分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成26年2月24日

建設環境委員会

委員長